

ソーシャルワーク入門

[講義] 第1学年 後期 必修 2単位

《履修上の留意事項》面接授業と遠隔授業の併用実施

《担当者名》 松本 望 ○片山 寛信 巻 康弘 奥田 かおり 近藤 尚也 (主担当者、○副担当者)

【概 要】

社会福祉実践のイメージを作るために、施設見学（8月）とソーシャルワーク入門実習（2日間）、各領域の特別講師の講話、実習報告会等を通して福祉実践のイメージを深める。

【学習目標】

1. 社会福祉施設をイメージすることができる。
2. 福祉サービスを活用する利用者の特性を理解する。
3. 福祉現場で働く職員の業務内容を理解する。
4. 福祉の実践現場の概要が説明できる。

【学習内容】

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
1	全体指導	オリエンテーション ・受講上の諸注意、授業計画、施設見学について理解することができる	松本・奥田・近藤・片山
2	全体指導	ソーシャルワーク入門実習の事前学習 ・各分野、施設・機関、利用者の特徴について理解することができる	近藤・松本
3	全体指導	ソーシャルワーク入門実習の事前学習 ・各分野、施設・機関、利用者の特徴について理解することができる	片山・松本
4	全体指導	ソーシャルワーク入門実習の事前学習 ・各分野、施設・機関、利用者の特徴について理解することができる	奥田・松本
5	全体指導	ソーシャルワーク入門実習の事前学習 ・各分野、施設・機関、利用者の特徴について理解することができる	松本
6	全体指導	ソーシャルワーク入門実習の事前学習 ・各分野、施設・機関、利用者の特徴について理解することができる	巻
7	全体指導	・前期の講義で学んだことを説明し意見交換する ・今後の学習内容を理解した上で自らの学習課題を見出し、意見交換することができる	松本・近藤・片山
8	外部講師（児童）	・児童領域における社会福祉実践を学び、感想や学んだ内容をまとめることができる	片山 高木 真理（特別講師）
9	外部講師（行政・相談機関）	・行政・相談機関における社会福祉実践を学び、感想や学んだ内容をまとめることができる	巻 寺本 圭祐（特別講師）
10	外部講師（障がい）	・障がい領域における社会福祉実践を学び、感想や学んだ内容をまとめることができる	近藤 山崎 正人（特別講師）
11	外部講師（医療）	・医療領域における社会福祉実践を学び、感想や学んだ内容をまとめることができる	片山 鹿野 なつみ（特別講師）
12	外部講師（高齢者）	・高齢者領域における社会福祉実践を学び、感想や学んだ内容をまとめることができる	松本 安藤 拳利（特別講師）

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
13、14	社会福祉実習報告会	・ソーシャルワーク基礎実習およびソーシャルワーク実習の概要や実習内容を学び、関心や問題意識を深めることができる	松本・巻・奥田・近藤・片山
15	全体指導	・1年間の学習内容を整理し、感想や今後の課題について意見交換することができる ・ソーシャルワーク基礎実習の概要を理解し、説明することができる	松本・巻・奥田・近藤・片山
17			
18,19			松本・巻・奥田・近藤・片山
20	全体指導	・1年間の学習内容を整理し、感想や今後の課題について意見交換することができる ・ソーシャルワーク基礎実習の概要を理解し、説明することができる	松本・巻・奥田・近藤・片山

【評価方法】

課題 75%、課題 ～ （特別講師レポート）25%

【備考】

教科書：『社会福祉用語辞典』ミネルヴァ書房

参考書：日本社会福祉学会辞典編集委員会：『社会福祉学辞典』丸善、2014。
その他、必要に応じて提示する。

その他：この科目は、教職課程（福祉）では、教科に関する科目の「社会福祉学（職業指導を含む。）」に該当する。

【学習の準備】

授業等で出てきた専門用語の意味について、辞書等で調べ理解しておくこと。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2、3、4

【実務経験】

松本望（社会福祉士）、片山寛信（社会福祉士）、巻康弘（社会福祉士）、奥田かおり（ソーシャルワーカー）、近藤尚也（社会福祉士）

【実務経験を活かした教育内容】

社会福祉士としての実務経験を活かし、各専門領域の特徴、業務、魅力を講義する。